

新年ご挨拶

光が丘地区連合協議会 会長 高橋 司郎

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大により、振り回された一年が過ぎ結果として、お一人お一人の生活も好むと好まざると関係なく大きく変化を余儀なくさせられました。

この状態がいつ終息に向かうか誰も予測し得ません。

光連協は、いち早く10月に新年賀詞交歓会の中止に踏み切り、また役員会もZOOM方式に切り替えました。

コロナとの闘いは、今年も続くものと考えるべきでしょう。

ワクチンの投与が一部の国で始まり、わが国でも3月から実施が予定されているとの報道が流れております。予防策としての効果そして副作用の有無について明確な回答は発表されておりません。

こうした状況の中、一人一人どうすべきか。「自分の命は、自分で守る」「家族の命は家族で守る」この事は、コロナだけではなく、いつ起きても不思議でない「東京直下型地震」でも言えます。

この新年ご家族全員で「コロナに打ち勝ち、地震にも打ち勝つ」為の「家族会議」の開催をお願いしたいと考えております。

最後に皆さまにとって本当の意味で平和で平穏な新年でありますこと祈念して止みません。